

「万博から考える、大阪の未来社会のデザイン」

公開講座

開催日

11.9^土 13:30-16:30



講師

ジャーナリスト
松本 創さん

1970年生まれ。神戸新聞記者を経て、ノンフィクションライター。著書に『誰が「橋下徹」をつくったかー大阪都構想とメディアの迷走』（日本ジャーナリスト会議賞）、『軌道ー福知山線脱線事故JR西日本を変えた闘い』（講談社本田靖春ノンフィクション賞）など。



コーディネーター

イングラムジャパン
笹田 能美さん



パネリスト

前大阪市議会議員
川嶋 広稔さん



パネリスト

桃山学院大学教授
吉弘 憲介さん

会場

PLP会館 5階 大会議室

〒530-0041 大阪市北区天神橋3-9-27

参加費

資料代 1,000円

申し込み方法

右記QRコードのフォームから、または郵送・FAXでお申し込みください。郵送・FAXの場合は裏面の申込書にご記入のうえ送付をお願いします。



申し込み締切 11月1日(金)

「大阪・関西万博」開幕まで1年を切りました。しかし、機運はいまひとつ盛り上がり欠け、会場建設の進捗の遅れなどネガティブな報道も後を絶ちません。一方、経済効果をしきりに強調する大阪維新の会の「万博観」への疑念もぬぐえません。

このままでは万博開催が、むしろ大阪・関西の経済的停滞や活力の減退を象徴するものとなりかねない危機感すら広がっています。

しかし、現代の万博は人類が直面する社会課題の解決に資する社会ビジョンや科学技術の提案・提言にその意義を有しており、集客や経済効果がすべてではありません。

私たちは市民の立場から、「大阪・関西万博」招致活動から開催準備に至る問題点を検証するとともに、本来の万博の意義に立ち返り、大阪の「未来社会のデザイン」のあり方について考え直してみたいと思います。

主催：大阪地方自治研究センター

〒530-0041 大阪市北区天神橋 3-9-27 PLP会館 2F

TEL : 06-6242-2220 E-mail : jichikencenter@jichiro-osaka.gr.jp

TIME SCHEDULE

開会・主催者挨拶

13:30 中野 勝利 (自治研センター所長・自治労大阪府本部委員長)

基調講演

13:45 「大阪と万博」
講師: 松本 創さん (ジャーナリスト)

休憩

パネルディスカッション

14:55
コーディネーター: 笹田 能美さん (イングラムジャパン)
パネリスト: 松本 創さん (ジャーナリスト)
川嶋 広穂さん (前大阪市議会議員)
吉弘 憲介さん (桃山学院大学教授)

閉会

16:30



- 大阪メトロ堺筋線 扇町駅4番出口より徒歩3分
- JR大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩5分

「大阪地方自治研究センター」とは

私たち「大阪地方自治研究センター」は、大阪府内の自治体職員を中心に構成する労働組合「自治労大阪府本部」が設置した地方自治に関する研究機関です。

近年は大阪維新の会が進める大阪の地方行政や「大阪都構想」に批判的研究を行ってきました。その成果を昨年、『「維新政治」と民主主義』(公人の友社)として出版しました。

ちくま新書

大阪・関西万博
「失敗」の本質

松本 創 編著

会場で本書を
あっせん販売します

- 第1章 維新「政官一体」体制が覆い隠すリスク
一万博と政治 木下 功
- 第2章 都市の孤島「夢洲」という悪夢の選択
一万博と建築 森山 高至
- 第3章 「電通・吉本」依存が招いた混乱と迷走
一万博とメディア 西岡 研介
- 第4章 検証「経済効果3兆円」の実態と問題点
一万博と経済 吉弘 憲介
- 第5章 大阪の「成功体験」と「失敗の記憶」
一万博と都市 松本 創

申込書

郵送、またはFAXでお申し込みの方は枠内にご記入のうえ、右記の宛先まで送付をお願いします。

郵送

〒530-0041 大阪市北区天神橋3-9-27 PLP会館2F
大阪地方自治研究センター

申し込み締切

11月1日(金)

FAX

06-6242-2224

お名前		所属・役職	
ご住所	〒 -		
TEL		E-mail	

お名前		所属・役職	
ご住所	〒 -		
TEL		E-mail	

お名前		所属・役職	
ご住所	〒 -		
TEL		E-mail	